

# 時代の流れをつかもう！①

● 鎌倉公方と幕府の戦い（永享の乱）  
持氏の不満は、幕府への反発に。四三八年、持氏が幕府を支援する関立は戦に発展。將軍・義教の送つた兵に持氏は追いつまれ、翌年自害する。

## ● 一三三三年 鎌倉幕府の滅亡

鎌倉幕府の御家人・足利尊氏らは、後醍醐天皇と手を結び、幕府を滅ぼす。しかし、新政権の方針をめぐり天皇と対立した尊氏は、自ら将軍となり室町幕府を開く。

## ● 将軍の後継者をめぐる対立

一四二九年、室町幕府六代將軍に足利義教が就任する。しかし、密かに將軍の座をねらっていた四代鎌倉公方・足利持氏は、その決定に不満を募らせる。

## ● 鎌倉公方の誕生

足利尊氏は、鎌倉に関東を支配する目的で鎌倉府を設置。子の基氏を長官に任命する。以後、基氏の子孫がその職を受け継ぐことになり、彼らは「鎌倉公方」と呼ばれた。

## ● 鎌倉府の影響力

鎌倉府は、関東やその周辺なども支配下に置く。その数は十二か国におよんだ。巨大組織に成長した鎌倉府は、地方統治の機関でありながら、室町幕府に匹敵するほどの力を手に入れる。



物語を読む前に…

歴史ナビデーター

知っておきたいこんな人！

あしかがしけうじ  
**足利成氏**  
(1434?~1497)



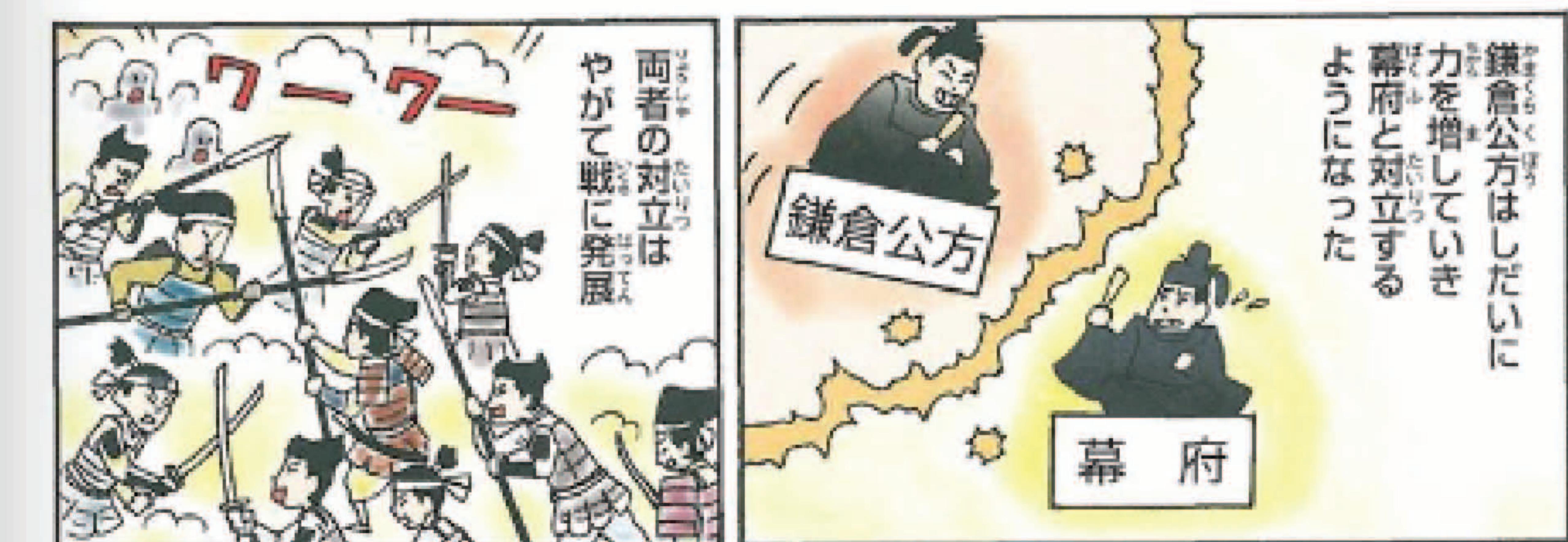
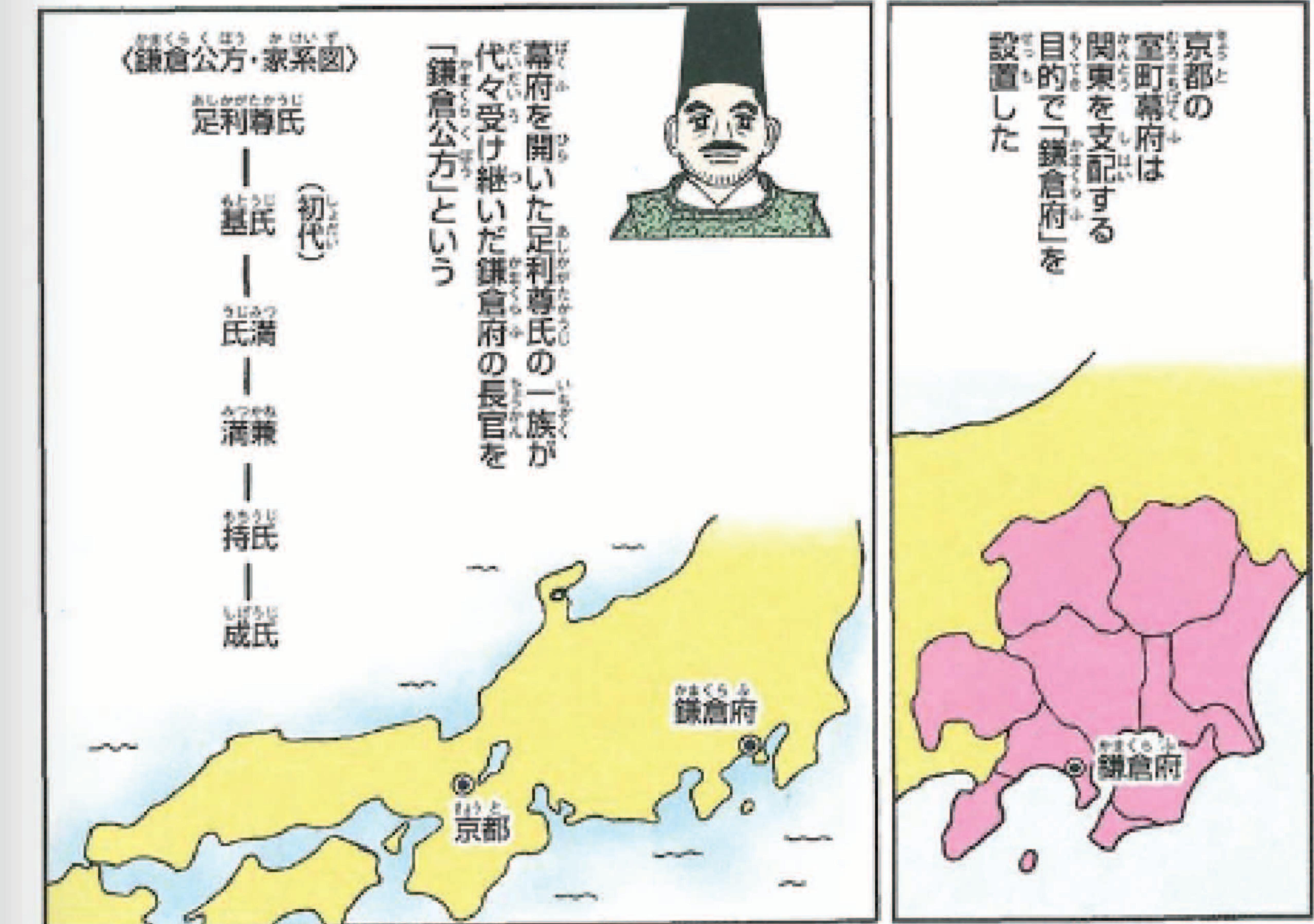
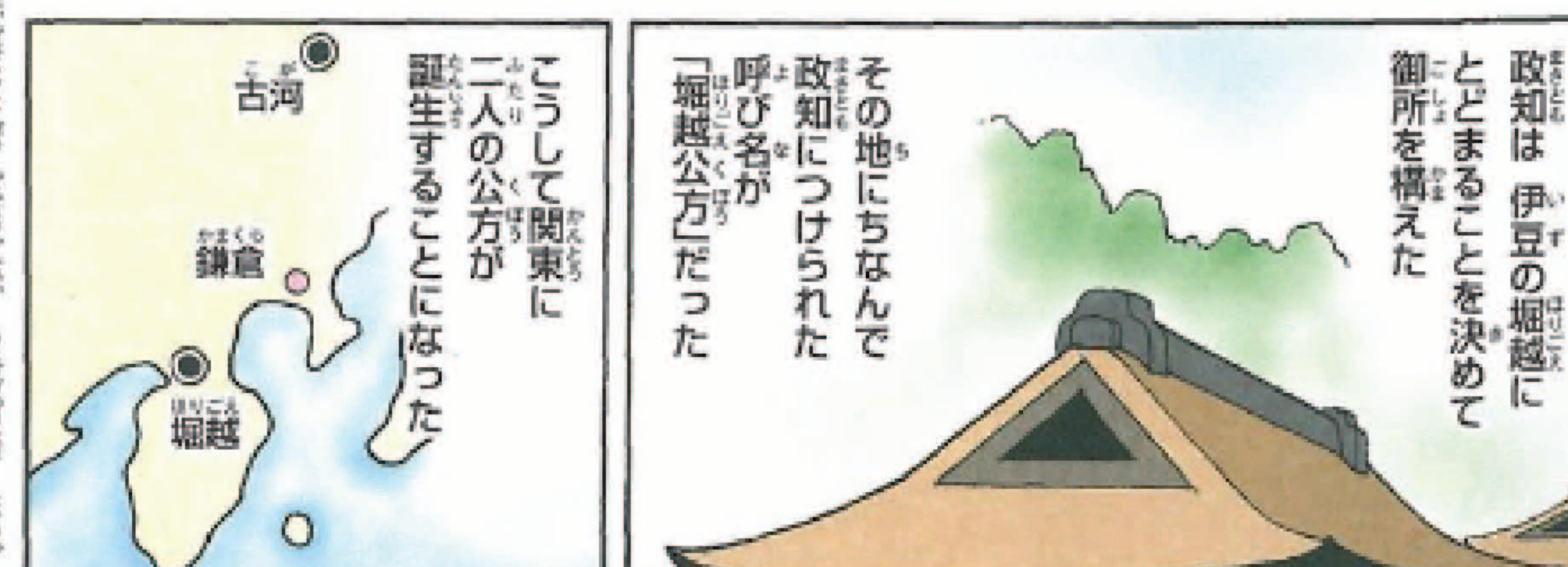
五代目鎌倉公方の足利成氏は、地位も恨みも受け継いたのかのう。先代は、幕府と対立し、自害に追いこまれた足利持氏。父の仇を討つべく、成氏は争いを起こすのじゃ。結局、幕府軍の勢いにおされ、鎌倉を追い出される。幕府から次の鎌倉のう。公方に指名された足利公知と、関東の支配をめぐってにらみ合うことになるのじや。

第1話

# 戦国時代のライバル三大対決

ほうじょうそううん  
**北条早雲**  
VS  
ほりごえくぼう  
**堀越公方**  
あしかがまさとも あしかがちやぢやまる  
**(足利政知・足利茶々丸)**

せんごくじだい  
さんだいたいけつ



京都の室町幕府は関東を支配する目的で「鎌倉府」を設置した

室町幕府・足利尊氏が京都に廻し、一五七三年まで続いた武家政権。鎌倉府・室町幕府の地方機関。関東八ヶ国と伊豆(静岡県伊豆半島)・甲斐(山梨県)をのむには陸奥(青森県・岩手県・宮城県・福島県)・山羽(秋田県・山形県)の二ヶ国も支配した。